

制作実習（映像基礎）

（秋学期 1単位）

各クラス共通

Video Production-Basic (Studio)

■授業概要

近年のメディア・テクノロジーの革新のもとで、映像作品発表の場が従来のテレビ局やビデオ作品、映画等のメディアに限らず、インターネット上にも求められるようになってきた。この実習では、そうした時代背景のもとで普及してきた小型化した民生用映像撮影機材と、パソコンを利用した映像編集ソフトを活用した映像作品の制作をおこなう。

映像作品制作の基礎を学ぶことにより、多メディア時代における基礎的能力としてメディアリテラシーの基本を身につけることをめざす。

■到達目標

簡易な映像機器、デジタル映像編集ソフトを使って作品をつくる基礎力を身につける。

■授業計画

- 1 オリエンテーション（Mac操作の基本、機材貸し出しルール説明、作品例紹介など）
- 2 撮影・編集の基礎（デジカメをつかった素材撮影の基礎、編集ソフトの基本操作など）
- 3 スライドショーの制作（その1：撮影）
- 4 スライドショーの制作（その2：編集）
- 5 スライドショーの制作（その3：作品発表会と講評1）
- 6 スライドショーの制作（その4：作品発表会と講評2）
- 7 ビデオ撮影の基礎と作品の構成
- 8 作品の企画
- 9 ショートムービーの制作（その1：撮影）
- 10 ショートムービーの制作（その2：取り込みと編集）
- 11 ショートムービーの制作（その3：音声の処理と編集）
- 12 ショートムービーの制作（その4：仕上げ）
- 13 作品発表と講評（その1）
- 14 作品発表と講評（その2）
- 15 作品公表の方法について（作品公開の心得、ウェブ、DVD作成など）

■授業時間外学習

授業時間内で終わらない作業（例：課題に関わる素材の撮影、編集等）については、各自授業時間外に取り組み、課題の制作を全うする。

■成績評価の方法

定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。

出席点（60%）、提出物点（40%）

■成績評価の基準

出席点（60点満点）……減点方式で、一回欠席ごとに10点減点

提出物点（40点満点）……制作課題各15点、最終レポート10点とする。ただし、制作課題不提出の場合は、成績全体を不可とする。提出遅れは原則として認めない。

■教科書

■参考書

『映像制作入門』（ナカニシヤ出版）鈴木誠一郎、喜多千草 編著 2009

『映像メディアのつくり方』（北大路書房）久保田賢一、岩崎千晶、中橋雄 2008

■備考